

広
報

白川 水と里ネット 白川かわ

第98号
平成30.5.15

発行所
山形県長井市今泉552番地
白川土地改良区
電話 (0238) 88-9331(代)
FAX (0238) 88-9348
印刷 (株)サンノエ企画印刷



白川公園

〈目次〉

理事長あいさつ……………	2	届出のお願い……………	9
通常総代会開催、平成28年度財産目録……………	3～4	今年度新規事業、起工式、施設見学……………	10
平成28年度決算報告……………	5	表彰、通水安全祈願祭……………	11
平成30年度一般会計・特別会計予算……………	6～7	お願い・お知らせ、事務局構成……………	12
平成30年度賦課額一覧表・平成30年度決済金一覧表…	8		

白川土地改良区賦課面積 3,937ha

組合員数 2,355名

平成二十九年年度

通常総代会挨拶



白川土地改良区

高橋 昭一

平成二十九年年度通常総代会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

近年まれに見る豪雪、大寒波となりましたこの冬も啓蟄も過ぎ、ようやく春を感じる季節となりましたが、まだまだ積雪も多く、春作業への影響が心配される昨今、総代各位には、何かとご多用の中ご出席を頂き大変ありがとうございます。

また、置賜総合支庁橋本産業経済部長様、川西町原田町長様をはじめ、多くのご来賓の方々には議会開会中でもあり、公務ご多忙の中ご臨席を承り、厚く御礼を申し上げます。

只今表彰を受けられました総代の方々には、長年にわたる本区へのご貢献に感謝を申し上げ、今後さらなるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は五月の高温での田植えから一転、六月から低温曇天続きとなり、その後、降雨日照不足が秋まで続き稲の作柄が心配されましたが、作況指数九十八の平均並となり、米価の若干の引き上げもあり、

安堵したところでもあります。

用水対応につきましても、最近になく順調に通水が出来たと思っております。しかし、豪雨や突風等による災害が全国各地で頻発し、特に農業は常に自然の恩恵を一番受けている反面、その脅威も真先に受ける立場にあります。この事を教訓に、多くの施設を有する改良区は人為的にできる災害防止対策と老朽化対策に重点的に取り組んでおります。

本年度も各種事業によって、飯豊町内では寺分堰パイプライン工事、外記川原水管橋工事、川西町では、下江排水路改修工事、東他屋揚水機更新、突発事故となりました犬黒幹線サイホン補修事業、飯豊町の農村災害対策事業への参画等を行い、四〇〇〇ヘクタール水田への用水の遅滞があつてはならないとの思いで取り組んでおります。それぞれの事業に負担を伴う訳ですが、計画的に財源の確保を図り、対処をしているところであります。

基盤整備事業であります。六月に谷地地区、八月に手ノ子地区、九月に大塚西部地区の三地区で起工式が行われ、中大塚地区では調査事業が採択され、現在六地区約六五〇ヘクタールで事業が進められております。また、こうぞく地区では権利者会議が終わり、来年度ようやく竣工を迎えることとなります。円滑な事業の進捗には、予算の確保が重要であります。組織を挙げての要請活動、政治力の強化等により他の公共事業費が伸びない中、前年を上回る予算付けとなり、六地区全てにおいて要求額を上回る内示を頂き、年度当初から事業が施行できると思っております。山形県のご配慮、市町のご理解に感謝し引き続き宜しくお願いを申し上げます。

非かんがい期水利権であります。今年も過去六

回の更新延長十二年間暫定水利権により通水を行っておりますが、先頃、河川国道事務所により協議書の提出が了解された旨の知らせが、農政局よりあり、ようやく前に進んだと万感の思いであります。振り返れば最初はお詫びから始まり、幾度となく会議でのお願い、必要性の説明、各方面への陳情要請、ぶれずに続けてきた結果と思っております。我々の意を理解し、交渉に当たって頂いた農政局西奥羽土地改良調査管理事務所をはじめ、ご尽力頂いた方々に感謝を申し上げます。これから六ヶ月程の協議の後、正式に決定になる様でありますので、期待を込めて待ちたいと思っております。

小水力発電事業「白川いいで発電所」であります。が、県営事業として平成二十七年年度から進めてきましたが、本体工事申請等の事務手続きは、七月に完了し、八月には発電の稼働が出来る予定であります。七年前の震災による原発事故から電力不足に対応すべくクリーンエネルギーとして、管理する水を有効に活用し、社会に貢献すべく計画をしたものであり、ようやく実現出来ると思っております。少しは維持管理経費の削減に寄与出来るものと思っております。

結びになりますが、本区は昭和四十五年設立認可から約半世紀、先人が営々として守り築いてこられた農への思いを継承し、農業情勢の変化に対応すべく、役職員一同努めているところであり、特に職員は限られた要員の中で通常業務と合わせ多くの事業と対峙しておりますので、寛容なお心でご理解とご支援を頂ければ幸いです。

本日提案させて頂きます議案慎重なご審議の上ご承認、ご決議を承りますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

平成二十九年 度

通常総代会開催

全議案原案どおり可決

平成二十九年 度通常総代会が去る三月十二日午後一時三十分より本区事務所に於いて開催されました。総代定数五十名中四十八名が出席し、山形県置賜総合支庁産業経済部長 橋本仁様、川西町長 原田俊二様の来賓祝辞、飯豊町副町長 嶋貫吉晴様、長井市農林課農山村整備係長 遠藤健志様、置賜総合支庁農村計画課長 補佐 松田啓一様、の来賓紹介の後議長に川西町下小松 勝見和彦総代が選任され全議案原案通り可決されました。



橋本産業経済部長



原田川西町長

議事

- 報第一号 平成二十八年 度事業報告の承認について
- 認第一号 平成二十八年 度一般会計歳入歳出決算書の承認について
- 認第二号 平成二十八年 度特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出決算書の承認について
- 認第三号 平成二十八年 度特別会計償還事業歳入歳出決算書の承認について
- 認第四号 平成二十八年 度特別会計基盤整備事業歳入歳出決算書の承認について
- 認第五号 平成二十八年 度特別会計地区除外等処理決済金歳入歳出決算書の承認について
- 認第六号 平成二十八年 度特別会計職員退職給与基金積立歳入歳出決算書の承認について
- 認第七号 平成二十八年 度特別会計役員退任慰労金積立歳入歳出決算書の承認について
- 認第八号 平成二十八年 度特別会計特別積立金歳入歳出決算書の承認について
- 認第九号 平成二十八年 度特別会計基本財産積立金歳入歳出決算書の承認について
- 認第十号 平成二十八年 度財産目録の承認について
- 認第十一号 専決処分した事件の承認について
- 議第一号 平成二十九年 一般会計歳入歳出第三回補正予算(案)の議決について
- 議第二号 平成二十九年 特別会計基盤整備事業歳入歳出第三回補正予算(案)の議決について
- 議第三号 平成二十九年 度政策公庫資金(農林水産事業)の借入金額の変更について
- 議第四号 平成三十年 度事業計画の議決について
- 議第五号 土地改良施設維持管理適正化事業資金の

拠出議決について

- 議第六号 定款の一部改正(案)の議決について
- 議第七号 平成三十年 度一般会計賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について
- 議第八号 平成三十年 度役員報酬額及び総代、役員費用弁償額の議決について
- 議第九号 平成三十年 度一般会計歳入歳出予算(案)の議決について
- 議第十号 平成三十年 度政策公庫資金(農林水産事業)の借入金及び償還方法の議決について
- 議第十一号 平成三十年 度一時借入金の議決について
- 議第十二号 平成三十年 度特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出予算(案)の議決について
- 議第十三号 平成三十年 度特別会計償還事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について
- 議第十四号 平成三十年 度特別会計償還事業歳入歳出予算(案)の議決について
- 議第十五号 特別会計の名称変更について
- 議第十六号 平成三十年 度特別会計土地改良事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について



開会のあいさつ
高橋副理事長



議長 勝見和彦総代

監査報告 横山総括監事



- 議第十七号 平成三十年度特別会計土地改良事業歳入歳出予算(案)の議決について
- 議第十八号 平成三十年度政策公庫資金(農林水産事業)の借入及び償還方法の議決について
- 議第十九号 平成三十年度一時借入金金の議決について
- 議第二十号 平成三十年度決済金の額の議決について
- 議第二十一号 平成三十年度特別会計地区除外等処理決済金歳入歳出予算(案)の議決について
- 議第二十二号 平成三十年度特別会計職員退職給与基金積立歳入歳出予算(案)の議決について
- 議第二十三号 平成三十年度特別会計役員退任慰労金積立歳入歳出予算(案)の議決について
- 議第二十四号 平成三十年度特別会計特別積立金歳入歳出予算(案)の議決について
- 議第二十五号 平成三十年度特別会計基本財産積立金歳入歳出予算(案)の議決について
- 議第二十六号 事業積立金の処分について
- 議第二十七号 平成三十年度加入金の額の議決について

質問する 宮澤総代



総代会の様子

平成28年度 財産目録

(単位：円)

摘 要			金 額	摘 要			金 額	
流動資産	現金及び預金	預 金	75,531,705	長期負債	借 入 金	日本政策金融公庫	224,283,040	
		未 収 入 金	54,342,021			山形おきたま農協	221,607,107	
	未 収 金 賦 課 金	21,189,684				2,675,933		
固定資産	有形固定資産	建 設 設 備	33,039,033	短期負債	借 入 金	運 営 資 金	447,385,833	
		機 械 器 具	28,390,674			積 立 金	地区除外等処理決済金	0
		備 品	2,065,099				職員退職給与基金積立金	15,224,292
		2,583,260	役員退任慰労金積立金		87,047,415			
	その他固定資産	基 本 財 産	467,646,455		役員退任慰労金積立金	2,978,344		
		特 定 資 産	307,479,114		特 別 積 立 金	53,996,290		
		160,167,341	基 本 財 産 積 立 金	288,139,492				
資 産 合 計			576,217,193	負 債 合 計			671,668,873	

平成28年度 会計決算の報告

一般会計

歳入合計 279,627,964円

組合費	67.31%	188,205,518円	平成28年度賦課金
助成金	0.36%	1,000,000円	市町より
補助金	9.17%	25,649,500円	維持管理適正化事業他
雑収入	1.34%	3,758,021円	過年度賦課金、手数料等
区債及び借入金	6.38%	17,850,000円	地域用水環境整備事業
繰越金	9.39%	26,262,838円	前年度より
繰入金	5.39%	15,067,087円	各特別会計より
不動産収入	0.66%	1,835,000円	土地・建物賃貸料
財産収入	0.00%	0円	

歳出合計 249,736,193円

事務所費	37.59%	93,863,949円	総代・役員費、事務所費等
維持管理費	44.30%	110,627,410円	維持管理費
一時借入金利息	0.00%	0円	一時借入金利息
財産費	11.90%	29,726,000円	退職給与基金、特別積立金、基本財産積立金
負担金	6.04%	15,095,801円	法定負担金、その他負担金
区債及び借入金	0.17%	423,033円	地域用水環境整備事業分担金
選挙費	0.00%	0円	選挙費
財産取得費	0.00%	0円	財産取得費

繰越額 29,891,771円

特別会計

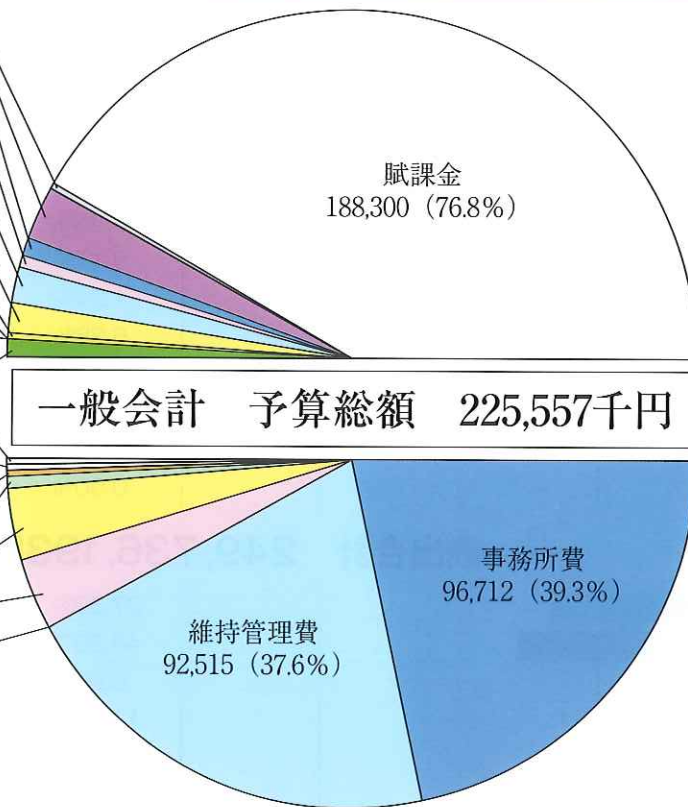
(円)

	歳入合計	歳出合計	差引繰越額
基幹水利施設管理事業	26,581,064	26,581,064	0
償還事業	26,126,695	14,463,032	11,663,663
基盤整備事業(こうずく地区)	7,932,978	3,821,102	4,111,876
基盤整備事業(宮地地区)	53,441,529	51,297,479	2,144,050
基盤整備事業(谷地地区)	26,891,124	26,130,357	760,767
基盤整備事業(大塚西部地区)	41,415,067	37,432,820	3,982,247
基盤整備事業(手ノ子地区)	21,467,131	20,791,791	675,340
基盤整備事業(中大塚地区)	1,444,719	332,412	1,112,307
地区除外等処理決済金	15,224,292	0	15,224,292
職員退職給与基金積立	131,729,515	44,682,100	87,047,415
役員退任慰労金積立	2,978,344	0	2,978,344
特別積立金	53,996,290	0	53,996,290
基本財産積立金	298,124,512	9,985,020	288,139,492

平成30年度 一般会計予算のあらまし

助成金	1,000	(0.4%)
補助金	11,070	(4.5%)
雑収入	4,210	(1.7%)
区債及び借入金	2,100	(0.9%)
繰越金	8,000	(3.3%)
繰入金	6,027	(2.4%)
不動産収入	1,830	(0.7%)
受託料	10	(0.0%)
財産収入	10	(0.0%)
売電収入	3,000	(1.2%)
予備費	2,000	(0.8%)
財産取得費	500	(0.2%)
選挙費	1,500	(0.6%)
区債及び借入金	2,500	(1.0%)
負担金	14,700	(6.0%)
財産費	14,980	(6.1%)
一時借入金利子	150	(0.1%)

(単位：千円)



平成30年度 特別会計予算総括表

(単位：千円)

歳入 ◎ 特別会計基幹水利施設管理事業 歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
基幹水利施設管理事業	21,210	18,590	基幹水利施設管理事業	21,210	18,590
管理体制整備促進事業	12,096	13,514	管理体制整備促進事業	12,096	13,514
計	33,306	32,104	計	33,306	32,104

歳入 ◎ 特別会計償還事業 歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
賦課金	6,336	7,761	繰出金	130	260
雑収入外	20,854	22,565	区債及び借入金	27,060	31,896
助成金	0	1,830			
計	27,190	32,156	計	27,190	32,156

歳入 ◎ 特別会計地区除外等処理決済金 歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
決済金	1,000	1,000	繰出金	14,600	600
繰越金外	19,310	12,510	積立金	5,710	12,910
計	20,310	13,510	計	20,310	13,510

歳入 ◎ 特別会計職員退職給与基金積立 歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
繰入金	5,000	5,000	給与金	46,770	91,500
繰越金外	41,770	86,500			
計	46,770	91,500	計	46,770	91,500

歳入 ◎特別会計土地改良事業 歳出

科 目	本年度予算額	前年度予算額	科 目	本年度予算額	前年度予算額
1. こうぞく地区	4,700	47,890	1. こうぞく地区	4,700	47,890
賦課金	188	194	事務費	750	1,000
補助金外	4,512	11,696	事業費外	3,950	10,890
換地清算金	0	36,000	換地清算金	0	36,000
2. 宮地地区	22,600	25,128	2. 宮地地区	22,600	25,128
賦課金	2,758	2,758	事務費	2,600	2,600
区債及び借入金	15,000	17,500	事業費	4,290	4,308
補助金外	4,842	4,870	分担金及び負担金外	15,710	18,220
3. 谷地地区	7,240	11,338	3. 谷地地区	7,240	11,338
賦課金	900	787	事務費	550	660
区債及び借入金	4,500	6,300	事業費	1,630	3,788
補助金外	1,840	4,251	分担金及び負担金外	5,060	6,890
4. 大塚西部地区	35,700	36,493	4. 大塚西部地区	35,700	36,493
賦課金	3,140	3,140	事務費	3,800	4,100
区債及び借入金	25,500	28,650	事業費	4,990	2,333
補助金外	7,060	4,703	分担金及び負担金外	26,910	30,060
5. 手ノ子地区	17,850	20,180	5. 手ノ子地区	17,850	20,180
賦課金	535	535	事務費	1,100	800
区債及び借入金	12,750	16,300	事業費	3,610	2,700
補助金外	4,565	3,345	分担金及び負担金外	13,140	16,680
6. 中大塚地区	10,360	16,000	6. 中大塚地区	10,360	16,000
賦課金	960	0	事務費	790	770
区債及び借入金	2,408	7,594	事業費	8,800	15,200
補助金外	6,992	8,406	区債及び借入金	770	30
7. 上萩野地区	17,321	0	7. 上萩野地区	17,321	0
賦課金	320	0	事務費	265	0
補助金外	17,001	0	事業費外	17,056	0
計	115,771	157,029	計	115,771	157,029

歳入 ◎特別会計役員退任慰労金積立 歳出

科 目	本年度予算額	前年度予算額	科 目	本年度予算額	前年度予算額
繰入金	560	560	給与金	5,224	4,124
納付金	560	560			
繰越金外	4,104	3,004			
計	5,224	4,124	計	5,224	4,124

歳入 ◎特別会計特別積立金 歳出

科 目	本年度予算額	前年度予算額	科 目	本年度予算額	前年度予算額
事務所修繕及び備品積立金	53,070	50,570	事務所修繕及び備品積立金	53,070	50,570
研修費積立金	4,040	8,010	研修費積立金	4,040	8,010
計	57,110	58,580	計	57,110	58,580

歳入 ◎特別会計基本財産積立金 歳出

科 目	本年度予算額	前年度予算額	科 目	本年度予算額	前年度予算額
財政調整基金	101,050	100,950	財政調整基金	101,050	100,950
事業積立金	217,690	207,530	事業積立金	217,690	207,530
計	318,740	308,480	計	318,740	308,480

平成30年度 賦課額一覧表

(円)

賦課種別		10 a 当り 賦課総額	第1期 賦課額	第2期 賦課額	前年との比較	償還完了年度 (償還年次表による)	
一般 会計	経常賦課金	4,800	4,800	-	0		
	経常賦課金(6/10地区)	2,880	2,880	-	0		
償還事業	白川左岸地区	1,200	-	1,200	0	平成37年度	
土地 改良 事業	こうずく地区	200	-	200	0	事業中	
	宮地地区	3,500	-	3,500	0	事業中	
	谷地地区	4,000	-	4,000	500	事業中	
	大塚西部地区	2,000	-	2,000	0	事業中	
	手ノ子地区	A地区	2,100	-	2,100	0	事業中
		B地区	1,400	-	1,400	0	事業中
	中大塚地区	400	-	400	0	事業中	
	上萩野地区	400	-	400	400	事業中	

◆土地改良事業に係る賦課金について

賦課金の納入通知は現在経常賦課金を負担している組合員に送付されますが、事業費負担は原則所有者に負担して頂くよう説明しております。

貸借をしている方で耕作者が賦課金を負担している場合、事業費賦課金についてはお互いに話し合いの上清算されるようお願いいたします。

賦課金の完納にご協力下さい。

平成30年度 地区除外等決済金額一覧表

事業種別	㎡当り決済金額
国営土地改良事業	維持管理 56円 73銭
国営附帯県営土地改良事業	維持管理 12円 82銭
一般	維持管理 11円 81銭
一般(6/10地区)	維持管理 7円 08銭
白川左岸地区	ストックマネジメント事業 0円 16銭
	新農業水利システム保全対策事業 4円 19銭
こうずく地区	事業 43円 38銭
宮地地区	事業 86円 05銭
谷地地区	調査 8円 89銭
	事業 133円 05銭
大塚西部地区	調査 4円 26銭
	事業 117円 89銭
手ノ子地区	調査 A地区 5円 93銭
	調査 B地区 3円 96銭
	事業 A地区 178円 46銭
	事業 B地区 118円 98銭

公共事業等で買収されたときは忘れずに決済しましょう。

賦課期日・徴収方法

1. 賦課期日及び納期

期別	賦課期日	納入期限
1期	平成30年度4月1日	平成30年 7月17日
2期	平成30年度4月1日	平成30年11月15日

2. 納入方法

- ・口座振替契約者は、第1期 6月25日から納入期限までの間に、
第2期10月26日から納入期限までの間に 引き落としを行います。
- ・現金の方は改良区窓口か最寄りの山形おきたま農協窓口まで納入ください。

3. 賦課基準面積

平成30年4月1日現在の土地原簿に記載された面積により賦課します。

こんな時は必ず改良区に届出をお願いします!!

組合員資格や農地の移動があったとき

- 農地の移動（売買・交換・贈与・賃貸契約及びその解除等）
 - 農業者年金（経営移譲による）を受ける場合
 - 組合員の死亡、経営の移譲による名義変更
 - 住所、振替口座の変更
- 提出書類：組合員資格得喪通知書
- 提出書類：貯金口座振替依頼書（変更）
：住所変更届

農地を転用するとき

決済金の納付が必要です

- 宅地等への変更
 - 公共用地（道路等）買収による転用
- 提出書類：地区除外申請書、農地転用等の通知

土地改良施設を利用するとき

使用料の納付が必要です

- 家庭排水、合併浄化槽からの浄化水の放流
 - 土地改良財産を出入り口に利用
 - 公共下水道、集落排水処理施設に接続
- 提出書類：土地改良財産他目的使用承認申請書
- 提出書類：土地改良財産他目的使用中止届

◆公共機関（農業委員会・法務局等）で手続きを行っても、**土地改良区に届出がなければ台帳・賦課等の変更ができません**のでご注意ください。

各種届出用紙は土地改良区に準備しておりますので、印鑑等をご持参の上手続きをお願いします。

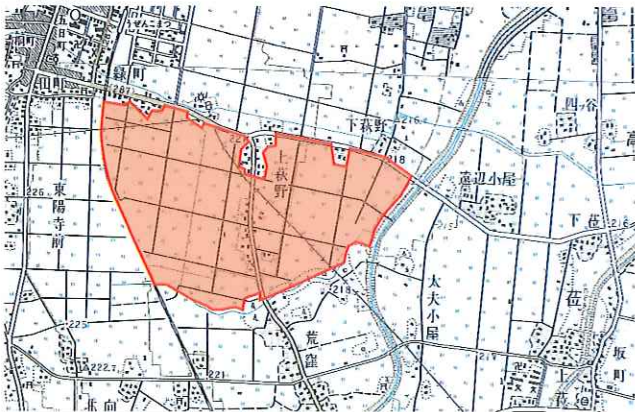
◆賦課金の納入には自動口座振替をご利用ください。お手続きは改良区でお願いします。

取扱い金融機関

- ・山形おきたま農業協同組合
- ・山形銀行

新規土地改良事業

位置図



凡 例	
区 分	名 称
	受 益 地

上萩野地区

・県営土地改良事業計画設計事業

1. 地区名 上萩野地区
2. 施工場所 川西町大字上小松地内
3. 事業量 A=80ha
4. 概算事業費 33,200千円
5. 事業期間 平成30年度～31年度調査

◆新規土地改良事業に係る賦課金について

今年度より、上萩野地区について調査事業が始まり新たに事業に関わる地元負担が賦課されます。この賦課金の納入通知は現在経常賦課金を負担している組合員に送付されますが、事業費負担は原則所有者に負担して頂くよう説明しております。貸借をしている方で耕作者が賦課金を負担している場合、事業費賦課金についてはお互いに話し合いの上清算されるようお願いいたします。

基盤整備事業 安全祈願祭

基盤整備事業の本工事着工に伴い、無事故と早期完成を祈願するため安全祈願祭並びに起工祝賀会が挙行されました。



手ノ子地区 穿初の儀

平成29年6月1日 谷地地区

施行委員長 江口 亮一

受益面積 : 22.6ha

平成29年8月3日 手ノ子地区

施行委員長 舟山 兵八郎

受益面積 : 29.2ha

平成29年9月1日 大塚西部地区

施行委員長 金子 一郎

受益面積 : 166.4ha

施設見学

川西町立犬川小学校 大塚小学校 【白川の水の道探検隊】

平成29年6月9日犬川小学校、大塚小学校4年生を対象とし、白川ダムから自分たちの地域に来る水は何処を通ってくるのか、水の道を探検しました。



川西町立小松小学校 東沢小学校 【校外学習 施設めぐり】

平成29年10月25日小松小学校4年生と東沢小学校の2～4年生を対象とし、「郊外学習施設めぐり」の一環として、長堀排水路の見学と説明を行いました。



理事長表彰 総代

平成二十九年年度通常総代会の席上に於いて長年土地改良区の運営にご尽力されました七名の方々に理事長より感謝状と記念品が贈られました。

手塚 幸一（飯豊町萩生）
 安部 均（飯豊町椿）
 目黒 伸一（長井市歌丸）
 横澤 美昭（長井市歌丸）
 那須 秀治（川西町西大塚）
 船山 陽一（川西町下小松）
 工藤 勉（川西町上奥田）



土地改良功労者表彰

第三十六回山形県土地改良事業推進大会が平成二十九年十一月七日山形交流プラザ「ビックウイング」で開催されました。

大会席上、長年土地改良事業に貢献された人々の表彰が行われ、山形県知事感謝状が鈴木総務課長と田辺管理課長に、山形県土地改良事業団体連合会長表彰状が高橋文勝副理事長と原維持管理係長に贈られました。



山形県知事表彰
 田辺管理課長、鈴木総務課長



山形県土地改良事業団体連合会長表彰
 原維持管理係長、高橋文勝副理事長

平成二十九年年度山形県土地改良事業団体連合会置賜支部通常総代会が平成三十年二月二十一日長井市「グランパリス長井」で開催されました。その席上で佐貝全健置賜支部長より左記の方々に表彰状が贈られました。

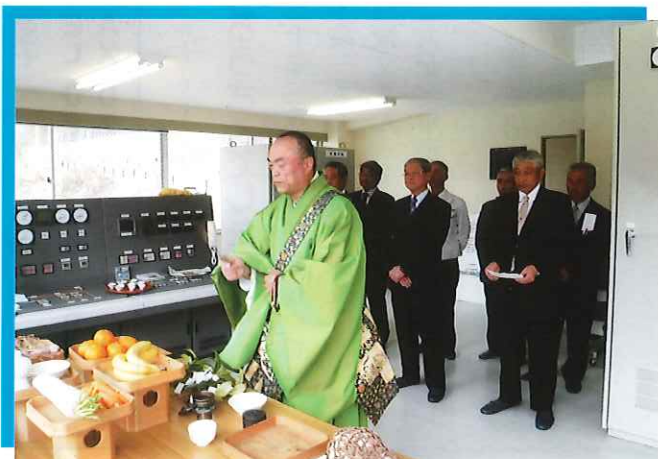
理事 米野 則雄
 理事 金子 昭雄
 理事 村山 邦男
 理事 加藤 俊一
 監事 安部 宗右衛門
 職員 小関 千晶



平成三十年四月二十七日、犬川黒川取水塔管理所において飯豊町泉学寺の遠藤住職により安全祈願祭が執り行われました。

高橋理事長、安部維持管理組合長、その他関係者出席の上、今年の用水の安定と無事故を祈願いたしました。

平成30年度通水安全祈願祭



お願い・お知らせ

子供を水路付近で遊ばせないよう 注意しましょう。

水路の通水量は、気象条件や営農上不定期に増減して危険です。各地で農業用水路による子供の水難事故が起きております。子供を水の事故から守りましょう。

かんがい用水の節水のお願い

かんがい用水として河川、ダムから取水できる水量は、許可取水量により決められた量を取っております。

本年も節水に対する取組みについて継続的なご協力をお願いいたします。

農業用の施設は組合員皆様の大切な財産です。

近年の気象状況の変化によりゲリラ豪雨や、長雨など突発的な出水が起きる事が多くなっております。

草刈り後の草や、ゴミなどを水路に流す事により水路の水が流れにくくなり水路が崩壊し、水増しになる危険が高まります。適切な管理を行い水路を守って行きましょう。

事務局構成

平成三十年度事務局構成を

お知らせいたします。

総務課

課長 木全 貴子
庶務会計係長 小関 千晶
庶務会計係主事補 横山 理子

賦課徴収係長 (木全課長兼務)

賦課徴収係主事 高橋 郭文
賦課徴収係主事 遠藤 卓郎

総務課専門員 鈴木 成一

管理課

課長 猪股 拓也
課長補佐 原 拓磨
維持管理係長 (原補佐兼務)

維持管理係技師 手塚 情
維持管理係主事補 新田 怜生

事業係長 (原補佐兼務)

事業係主事 後藤 葵
事業係臨時職員 沼澤 明美

管理課専門員 青木 茂
管理課専門員 田辺 俊文

休日勤務

代掻き・田植え、間断かん水期は交代で出勤し対応いたします。

TEL 0238(88)9331
FAX 0238(88)9348

ごくりさまでした

平成三十年三月三十一日をもって
鈴木成一さん(前総務課長)
田辺俊文さん(前管理課長)
のお二人が定年退職されました。

現在は継続雇用により引き続き勤務を行っております。



田辺課長、高橋理事長、鈴木課長